

7月24日 ゴルフ同好会報告



念願の同好会ゴルフコンペ開催
記 佐藤美枝子

さる7月24日水曜日に、石坂ゴルフ倶楽部にて昨年から持ち越しのゴルフコンペが開催されました。炎天下のため棄権された方もいましたが、参加者は全員途中リタイヤもなくホールアウトできました。気候の変動のため、途中の雷雨で1時間の休憩はありましたがその後は涼しい風を受けながらのプレーとなりかえって救いの雨となりました。参加者13名の予定でしたが実際には7名2組となりましたが、石坂クラブ会員の吉田恵子さんと石塚丈晴会員のおかげで破格にディスカウントしていただいたフィーでした。終了後の打ち上げ会では、ノンアルコールドリンクで喉をうるおし表彰式が行われました。なぜか全員が、何かしらの賞をいただきました。暑かったけれど、親睦が十分にはかれた一日でした。今回の幹事役をいただいた森川会員、大変有り難うございました。また次回のコンペを楽しみに、皆さん帰路につきました。

7月28日 親睦委員会報告

念願の宝塚観劇
記 親睦委員 佐藤美枝子

昨年7月以来の観劇が、昨日7月28日の日曜日にやっと実現しました。2023年年末には宙組のチケットは取れたものの、歌劇側の事情で急遽中止となっており残念な年末となっております。

今回も宙組生徒さんのご家族からチケットを手配していただきました。宙組女役の瑚々さくらさんの席です。当クラブからは炎天下にもかかわらず、13名の会員と家族が参加されました。出し物は、ル・グラン・エスカリエーというショーで80分もの、午後3時半からの開演でした。華やかに変わる舞台に衣装も次々と変わり、歌いながら踊る姿はまさに過去のデビューが走馬灯のように流れていきました。アツという間の80分間の舞台でした。今回は日曜日の夕方からの観劇という事もあり、終了後は劇場から徒歩10分以内にある、酒屋四万十川にて打ち上げの親睦会をひらきました。米山奨学生2人も加え、和やかな会となりお腹も胸も一杯で、皆さん帰路につきました。その夜は、どんな夢をご覧になったでしょうか？ また是非機会ありましたら、夢の世界にご一緒しましょう。

8月お祝い

今月の誕生日 有我 信行
皆出席(年) 1 高木 義男
1 細田 新子

8月例会SAA担当

司会者 細田新子会員
ニコニコ担当 鈴木孝雄会員
写真担当 森川義基会員
ソングリーダー 榊原一久会員

例会スナップ



卓話総括 榊本稔会員

Rotary
東京池袋豊島東ロータリークラブ



3050回
第4回例会 2024.8/1

Weekly Report

Rotary Club of
Tokyo Ikebukuro Toshima-East



会長:佐藤久雄 幹事:高木義男 RI会長:ステファニー A. アーチック 第2580地区ガバナー:石川彌八郎

RI2024-2025年度テーマ



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1・真実か どうか
- 2・みんなに公平か
- 3・好意と友情を深めるか
- 4・みんなのためになるか どうか

【名著を読む】

正岡子規『病壯六尺』

結核から脊椎カリエスを併発し、寝たきりの生活を余儀なくされた子規が、死の2日前まで書き続けた随筆である。不治の病に斃れ「病壯六尺」という世界で、病苦に身を置きながら、強靱な精神力で草花や果物の写生を楽しみ、旺盛な好奇心が尽きない姿に瞠目する。(小泉博明)

本日の例会

8月1日(木) 12:30~13:30
卓話:「経営革新計画をとって開催している
カメラアダンス会について」
卓話者:椿妙子様
紹介者:佐藤美枝子会員



会員卓話 横山晴夫会員

次回の例会

8月8日(木) 12:30~13:45
クラブ奉仕(会員増強)フォーラム 榊原一久委員長
イニシエーションスピーチ 大野匡也会員

7月18日 例会報告

司会 加古会員
開会点鐘 佐藤会長
ロータリーソング
ソングリーダー 石川会員

☆会員総数 35名
☆出席規定適用者数 28名
★本日の出席者総数 24名
★〃 免除者出席数 4名
★本日の出席率 75%

☆本日のビジター

寺田 弘晃様 東京東江戸川IRC
阪口 章吾様 東京池袋豊島東NEXTロータリー
衛星クラブ/議長

ニコニコ

小林会員 今日ニコニコはありません。発表者としてヒトコト ニコニコもっと多くなれ！！

本日の合計額:5,000円
今年度ニコニコ累計額:65,000円
今年度指定ニコニコ累計額:0円

会長報告

- 1 現在、高熱を伴う悪性の風邪が流行している様です。
また東京では新型コロナの再流行の兆しもあるとのこと。感染防止にご注意ください。

幹事報告

- 1 8月はお盆のため、中旬は休会となります。
8月の例会は、1日、8日、29日ですので、ご留意ください。
- 2 都の医師会から、コロナ感染症が再拡大する兆候があると発表されています。
会員の皆様におかれましても、感染防止のため特に2つの点にご注意ください。
・混雑している密閉環境でのマスク着用
・食事前の手の清潔維持
ゲストとの握手は、グータッチをお願いします。
- 3 ローターリー囲碁同好会の全国大会が10月26日に行われます。
出場希望の方は、事務局までご連絡ください。

卓話報告

先ず、私の職業の欄に「教育」とあるのは相応しくなく、との指摘がありました。私なりに見解を申し上げたく思います。

昔、四十歳代の頃、池袋ロータリークラブに入会しましたが、その時は留学生寮以外、「日本語学校」や「外国人による児童英語教室」も経営しておりましたので、職業として「教育」と言うのは誰の批判の対象になりませんでした。それが今や教育関連事業は「留学生寮」だけになり、国際交流が教育なのか、という疑問が湧いているのかと思います。

私達は、上智大学、早稲田大学、学習院大学等の大学と三者契約(大学、留学生、弊社)をし、フィールド・スタディを受け持っています。それは、私達

スタッフが計画して、国会見学と衆議院議員との討論会、盆栽美術館と盆栽造り、NHK見学、スキーツアーと現地高校生との交流、相撲部屋見学とちゃんこ鍋試食会等で、パーティーも九月と四月、更にクリスマス時期にはKFC、ピザ、お寿司、餃子、ハラルフード、季節の果物等にビール、ワイン、コーラ、ウロンチャです。最近イスラム圏の学生が増え、酒類が減り、前回のパーティーではケバブ(トルコ料理)を出し好評でした。

私は「教育」とは知識教育だけでなく、いろいろ立場の違う人が議論をして、一つの回答ではなくて、多数が納得する解決を求めるものだと思います。それにはダイバーシティ(多様性:人種、文化、言語等)が求められるのです。私はその一環を背負っていると思っています。東大が今、何に悩んでいるのか、申し上げたいと思います。東京大学は学部学生数14,058人で男性11,351人に対し女性2,707人、つまり女性は全体の二割です。諸外国でハーバード大、スタンフォード大でも、或いはヨーロッパの英国オックスフォード大、仏国ソルボンヌ大、或いは独国のハイデルベルグ大でも大体男女同数です。教授の数を比較すると、男性12,07人で女性142名です。何と一割強ですね。次に留学生総数は5,106名で多くは大学院学生ですが、これも諸外国に比べると非常に少ない。驚いたことに外国人の教授はたった一名だそうです。スタンフォード大等はアジア系の学生が増えすぎて、ヨーロッパ系(WASP)に比べ数を制限し、外国人教授も多く在籍します。更に、東京大学の学生の親の所帯年収は金持ちの子弟が多いといわれる慶應義塾大学を上回ります。加えて、首都圏と近畿圏の中高一貫校出身の学生が大部分を占めております。つまり、東大のキャンパスは外国人が少ない、女性も少ない、貧乏人もいない、CITY-BOYばかりです。更に加えれば障害者を見ることもめったにない、三重苦と言われたヘレン・ケラー女史はハーバード大の卒業生ですよ。東大には専門書の点字本やカセットを集積した図書館が無い、聴覚障害者のための日本手話通訳はいない、今、やっと九歳で失明し、十八歳で聴力を失った福島智教授が駒場キャンパスの先端科学技術研究センターで教育バリアフリー学の研究の途に就きました。福島教授は指文字でコミュニケーションを取るのです。つまり私がやっている外国人の受け入れは教育のダイバーシティ化の一環だと思っています。

これは何も大学だけの話ではありません。欧米ではインクルーシヴ・エデュケーション(統合教育)が行われているのです。つまり、普通の子、ギフトド(秀才・天才/音楽や美術も含めて)、障害者、英語が喋れな

い外国系の子等と一緒にクラスのクラスに在籍しているのです。日本は特別支援学校に障害者を通わせ、分離教育をしておりますが、これは国連の障害者権利条約違反と言うことで、是正の勧告が来ております。

さて、私の国際交流の仕事は3.11の東北大地震と津波の時は、交換留学生は皆、母国の母校に帰りました。唯、東大の修士課程、博士課程で研究する大学院生は気候せず、残ったのと、旧池袋ロータリークラブ会員だった小原孝一郎氏の好意で、家賃を減額して頂き、なんとか窮状を凌ぎました。そして現在もコロナ禍で外国人留学生の入国が許可されませんでしたので、三年間は大赤字でした。今はそのリハビリ中です。私はロスアンジェル・ドジャースの大谷翔平選手のように二刀流で、リハビリ中の国際交流事業は「投手」、コロナ期に外出がままならなかった故に「うつ病」が多発し、精神障害者の受け入れ事業は需要が増した感があり、大谷選手に例えれば「打者」と言えます。私の職業欄は「投手」の方でも、「打者」の方でもさじつかいありません。

そこで、今度は職業欄に「精神障害者グループホーム及び同就労支援事業」つまり、障害者福祉というのが、あればこちらでも結構です。精神障害者は榎本稔先生が精神科クリニックやデイ・ナイトケアを経営していらして、日本のこの分野の第一人者です。一度先生の「卓話」江尾お聞きしたいものです。世界ではアメリカのジョン・F.ケネディ大統領が1963年新年に大統領一般教書として「精神科病院及び知的障害者大型入所施設解体」を宣言し、翌年には本当に解体してしまつたのです。精神障害者や知的障害者は行くところが無く、ホームレスになって、市庁舎や教会等に集まって、風雨を凌いでいました。しかし、徐々にではありましたが障害者の施設が街中にできてきました。ヨーロッパは之よりも早く、例えばイタリアでは1978年にバザーリア法という精神科病院を無くす法律ができ、総合病院の一角に出入り自由な精神科棟(15床)が、デンマークでは1959年ノーマライゼーション法ができ、障害者も街中に、少人数で普通の自由な生活ができるようになりました。

ところが日本では1964年に在日アメリカ大使館前で、エドウィン・ライシャワー氏が日本人精神障害者の青年に刺傷されたのです。当時の池田勇人総理や厚生省は「精神障害者を放置するな！」との掛け声で、世界とは逆に精神科病院を多数設立してしまつたのです。世界の常識とは逆なことをしてしまつた。ですから、現在でも30万人近くの精神障害者が精神科病院で入院生活をしております。

この精神科病院には実は総合病院と比べて医師数は三分の一、看護師数は三分の二で良いと言う「特別

基準」ができた。そこで、どうしても手が足りなく、「身体拘束」や「小部屋に施錠」や「精神病薬の大量服薬」等の対応が図られ、精神病が発症しても患者は精神科病院入院を望まず、多くは強制入院(医療保護入院)させられています。

こうした精神科病院のあり方を国連の「障害者権利条約」違反であると日本政府に勧告を与えています。

また、もう一つの問題は刑法39条です。これは「心神喪失者は罰しない。また心神耗弱者の行為はその刑を軽減する」というものであります。この法律は明治39年に施行された法律で、当時は精神病は統合失調症(精神分裂病)しか分からず、抗精神病薬もなく、「きつねつき」等と呼ばれていました。

この刑法39条と大阪市の学芸大池田小学校で、複数の児童を殺害し、職員をも傷つけた宅間守の犯罪によって、2005年に「医療観察法」ができ、心神喪失や心神耗弱の状態では他害行為をしたものに医療による社会復帰させる法律となりました。こうした触法障害者も私たちのグループホームにも居住している。医療入院で寛解した後、退院後約三年間滞在して、普通の街中での生活に移るのであります。要するに精神障害者の野放し問題といえます。私たちは年間に数多くの行事を催しています。お餅つき大会、ボーリング大会、バーベQ大会、一泊旅行等ですが、現利用者のみならず退去した触法障害者、一人暮らしの普通の退去利用者も含めて、普段から定期的に電話で安否を尋ねたり、日常の簡単なトラブルから消費者金融、恋愛(妊娠)問題、光熱水費の支払い等の問題を解決し、こうした行事にも招待している。

こうして、約二十年のNPO活動が過ぎ、今や、八棟の精神障害者グループホーム(88名定員)、三種類の同就労支援事業(パン屋、清掃、野菜のマルシェ)40名定員、約40名の正規職員、20名の臨時職員を要している。生活指導員は全て国家資格所有者(精神保健福祉士、社会福祉士、公認心理師等)であり、障害者差別と闘っている。更にこの度、練馬区から「地域生活支援拠点」の指定され、今回の新精神障害者グループホーム二十名は今年度中に着工される。

しかし、座敷牢と呼ばれる物置の一角に作られた小さな囲いの中で、「糞も飯も一緒」だった精神障害者の悲しい歴史は忘れない。特に、当時の精神障害者への対応を観て、東京大学の精神科の呉秀三教授は次のように言った。「我が国、十何万の精神病患者は、実に此の病を受けたるの不幸の他、この国に生まれたるの不幸を、重ねるものと言うべし」と述べた。今でも日本の障害者施策は欧米より五十年以上遅れている。

会員卓話 横山晴夫